

【一般部門・入選作品】



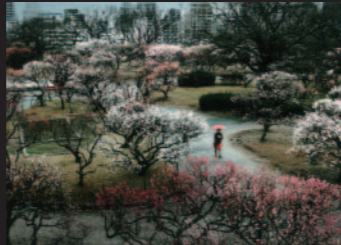
【撮影場所】
中央区
天神4丁目
那の津通り
【撮影日】
平成24年
6月

二階建てバス颯爽と！
小山田 公子



まちなかアート
岡田 照秋

【撮影場所】天神 ソラリアプラザ前
【撮影日】平成24年9月



雨の日も楽し
石村 國男

【撮影場所】舞鶴公園
【撮影日】平成24年3月



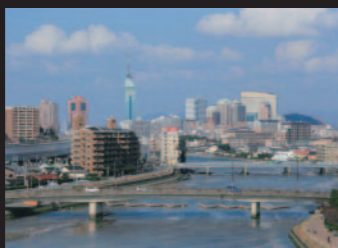
早春の香り
吉岐 貴三郎

【撮影場所】中央区舞鶴公園
【撮影日】平成24年3月



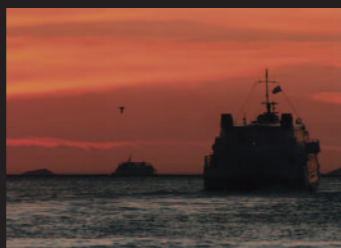
サギが主役の落日の干潟
西久保 民久

【撮影場所】西区今津干潟
【撮影日】平成23年12月



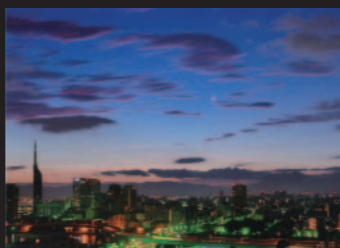
室見川にかかるやな
郷 尚司

【撮影場所】室見団地
【撮影日】平成24年3月



出港
関東 博子

【撮影場所】博多埠頭
【撮影日】平成24年7月



目覚める街
上玉利 健一

【撮影場所】愛宕神社
【撮影日】平成24年8月



「冬のお堀」
本田 優子

【撮影場所】大濠公園
【撮影日】平成24年2月



ベロタクシーのいる光景
堀 康二

【撮影場所】
博多駅博多口
【撮影日】
平成24年
6月



大浜 流 灌頂
藤島 正稔

【撮影場所】博多区大博町
【撮影日】平成24年8月



二人を照らす光
福元 洋平

【撮影場所】
博多駅
【撮影日】
平成23年
12月



荒津大橋から望んで
吉村 彪

【撮影場所】荒津大橋
【撮影日】平成24年6月



怖い節分の日
山本 和弘

【撮影場所】博多区御供所町
【撮影日】平成24年2月



ようこそ福岡へ
森 勝博

【撮影場所】東区東浜
【撮影日】平成24年7月



能古からの展望
松本 洋子

【撮影場所】能古渡船場
【撮影日】平成24年4月

まちなみ写真コンテスト

福岡市まちなみ写真選考委員会委員（敬称略）
佐藤 優（九州大学大学院 芸術工学研究院教授）
藤本 健八（フォト・ワークス代表）
井上 一（ブルックススタジオ代表）
池田 美奈子（九州大学大学院 芸術工学研究院准教授）

【一般部門・優秀作品】



ランドマーク
石川 博明

【撮影場所】福岡市東区
【撮影日】平成23年12月

【撮影者コメント】福岡のランドマークといえばYahooドームに福岡タワー飛行機とのコラボです。

【講評：井上委員】福岡空港を離陸する飛行機、造船所、ドーム球場、福岡タワー、そして今津湾の向こうには、なんと九州大学伊都キャンパスが見える。逆逆光の光線と超望遠レンズによる作品は一枚の写真の中に近代都市福岡市の魅力がいっぱい詰まっています。



愛宕山雪景
田地 よう子

【撮影場所】西区愛宕
【撮影日】平成24年2月

【撮影者コメント】めずらしく雪が降り、薄化粧をした愛宕山が、いつもの見慣れた景色から静寂の世界へといざなうようです。

【講評：藤本委員】西区愛宕山の山頂には愛宕神社がある。それは雲の日に暮色でねらったこの一枚、福岡では珍しい雪景記録だ。画面は程よい距離感と明度及びコントラストの調整が有効で、作者の意図する情感がほのぼのと伝わってくる。

初夏の彩り
南 順子



【撮影者コメント】恒例となった歌舞伎興行のお披露目、船乗り込み。ご鼠辰役者さんへのかけ声と紙ぶきが舞い踊りました。

【講評：池田委員】歌舞伎役者の放つオーラに紙吹雪が舞う瞬間を捉えた華やかな写真である。中洲を流れる那珂川の上を船頭の竿さばきでゆったり進む役者舟、鼠辰を一目見ようと川岸に集った大勢の人々の姿に芸事が盛んな博多の伝統が漂う。

【撮影場所】博多区中洲
【撮影日】平成24年5月



下校の刻
山本 和弘

【撮影場所】中央区舞鶴
【撮影日】平成23年11月

【撮影者コメント】西陽指す下校の刻。友人を待つ生徒と古い城門。そして秋色に広がるひとこま。

【講評：佐藤委員】福岡城跡の門をくぐって登下校をする。幸せを感じるひと刻にちがいない。色づきはじめた葉と夕日を浴びた仲間の姿が、力強いコントラストで区切られた門の前後に浮かぶ。光と時間と心が凝縮された秀作である。